

動作環境

OS・ブラウザ	Microsoft Windows 10 以降	Microsoft Edge・Google Chrome™
	macOS 12 (Monterey) 以降	Safari・Google Chrome
	iOS/iPadOS 15 以降	Safari(iOS版)・Google Chrome
	Android ※Android 12.0.0以降	Google Chrome
	Chromebook™ (ChromeOS™)	Google Chrome

※ 動作保証対象は上記各ブラウザの最新バージョンとなります。
 ※ Chromebook、ChromeOS、Google Chrome、Google スライドは Google LLC の商標です。

スクールタクトを“2カ月間無料”で体験

2ヶ月間
¥0 無料体験

最短1営業日でご利用開始

01

先生・管理者は永年無料

スクールタクトは児童生徒数に応じた料金設定なので、先生・管理者の利用料金はかかりません。

02

2カ月間ご利用料金無料

先生1人と児童生徒40人の無料アカウントを発行いたします。



スクールタクトはClassi社のClassiNOTEと同一商品です。ClassiNOTEをご希望の方もお問い合わせください。

先生の「困った!」を解決する 導入サポート体制

SUPPORT 01

チャットでいつでも気軽に質問できる!

カスタマーサポート



SUPPORT 02

機能や操作方法をいつでも確認できる!

ヘルプページ



SUPPORT 03

明日の授業のヒントが見つかるサイト!

活用ライブラリ



SUPPORT 04

スタッフが先生・学校のお悩み解決をサポート!

個別相談会



お客様のご要望に寄り添ったサポートで学びを支援いたします。

お気軽にお問い合わせください。

code Takt

株式会社コードタクト
 〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-4 大場ビルA館2階b室
 ☎03-4446-5014 🌐 <https://codetakt.com>

学びとマナビが、
 ひびき合う。



第13回
**日本
 e-Learning
 大賞**
 EdTech特別部門賞
 受賞

第18回
**日本
 e-Learning
 大賞**
 オンライン授業支援
 特別部門賞
 受賞

総務省
 先進的教育システム
 実証事業
 コンテンツアクセス数
NO.1

ユーザー数
100万
 ライセンス
 突破

授業支援クラウド スクールタクト

school Takt

スクールタクトは、機種を問わずにICTを活用した授業ができる授業支援クラウドです。GIGAスクール構想や学習指導要領など、最新の教育トレンドを考慮したさまざまな機能で、先生が教えやすく児童生徒が学びやすい環境を作ります。

スクールタクトはこんな **お困りごと** に応えます

スクールタクトが選ばれるその他のメリット

詳しくはオフィシャルサイトをご覧ください



01

使い方

使い方をイチから覚えるのが大変そう…

そもそもICTに苦手意識がある…

圧倒的な使いやすさ



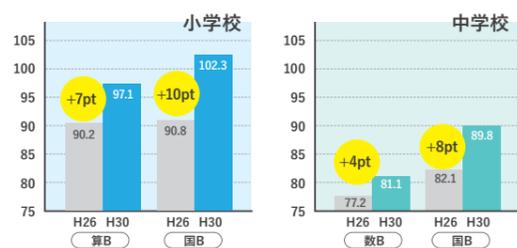
授業に役立つ機能が充実

シンキングツールや課題テンプレートを豊富に揃えており、ICTに苦手意識がある方でもすぐにご活用いただけます。また、先生方の声を反映させた直感的な操作画面により、安心かつ質の高い授業が実現できます。

授業の質が上がるから成績も上がる

6年間のスクールタクト活用を主としたICT活用実践を行った結果、全国学力テストの点数が向上しました。(右グラフ参照)

全国学力学習状況調査の結果推移※1
(福島県相馬郡新地町立小学校・中学校H26年とH30年の比較)



03

学習指導

学力向上や新学習指導要領に対応したい…

取りこぼしのない学級経営が難しい…

授業への参加意欲を高める



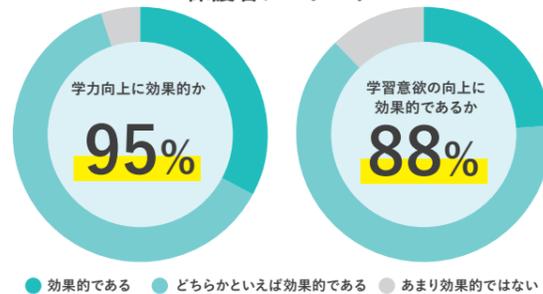
児童生徒の個性・魅力を引き出す

児童生徒が入力したデータをもとに、独自のログ分析を行うことにより、児童生徒の個性や魅力を把握できます。また、他者の意見に触れることで気づきや自己効力感を醸成し、授業への参加意欲を高めます。

保護者の期待も高いICT

スクールタクトを通じて、子供が活発に発言するようになったことは、保護者として大変喜ばしい変化でした。

保護者アンケート※2



02

授業スタイル

今の授業スタイルを維持できるか不安…

登校できない子たちにも学びの場を作りたい…

多様な授業スタイルに対応



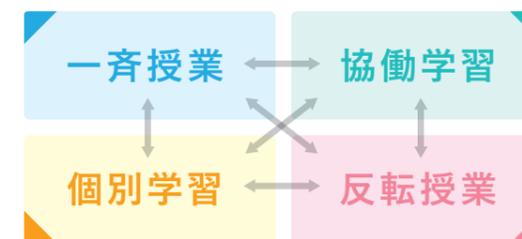
先生の個性を生かした授業が可能

一斉授業・協働学習・個別学習・反転授業など、先生が実現したい授業スタイルに幅広く対応できます。さらには、ICTの良さである非同期性を生かしつつ、オンライン・オフラインを融合した授業も可能です。

いつもの授業が進化する

板書やプリント配布、回答の確認などの時間を軽減できるので、演習や協働学習など、より多くの時間を児童生徒に向けて使うことができます。

授業の切り替えもカンタン



04

管理運用

全部の端末にインストールするのは面倒…

学年が上がる度に更新するのは大変…

導入・運用管理がカンタン



必要なのはブラウザだけ

クラウドで稼働するので、サーバーやメンテナンスなどの運用コスト削減を実現できます。

ブラウザで動くためインストールも要らず、OSのアップデートの影響もなく、教員側の管理が非常に楽だと感じます。

年度更新も手間なく。働き方改革を支援

年度末の進級・卒業処理などのユーザー管理はシンプルに。日々の運用は、資料配布にスクールタクトを使うことで印刷時間を削減したり、過去に作成した課題を複製して配布するなど、業務の効率化を支援します。

配布資料・振り返り添削の効率化※3



※1 出典:総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」、文部科学省「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」、「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業」 ※2 福島県相馬郡新地町保護者アンケートより ※3 当社製品情報より

目的に合わせた運用が可能

新学習指導要領が目指す学習活動へ対応



一斉授業



「聞くだけ」から、参加型の一斉授業へ

一斉授業は、児童生徒が先生の板書をノートに取るだけの活動になりがちですが、スクールタクトを使えば、児童生徒の理解度を把握しながら児童生徒全員の授業の感想や質問を独自の技術で瞬時に可視化できるので、特定の感想や質問から学びを掘り下げる参加型の一斉授業を実現します。

ペーパーレスで業務改善も

PDFの簡単取り込みで授業準備時間を短縮し、ペーパーレスな授業を展開できます。

個別授業



個別学習でも、教え合いで深まる

スクールタクトを使えば、課題を解き終わった児童生徒が困っている児童生徒に教え合い、学びを深め合う環境を瞬時に用意することができます。

個別最適な学びの実現

一人ひとりの学習状況に応じた課題配布で、個別最適な学びを実現します。また、課題の提出状況、採点状況をまとめて集計できるため、効率的に評価を行うことができます。

協働学習



どんな授業でもワンクリックで協働学習に

授業の目的に応じ、一斉授業・個別学習からワンクリックで協働学習に切り替えることができます。たとえば英語では、児童生徒が作った英作文やテストの予想問題を児童生徒同士で添削・回答し合うことで、児童生徒主体の効果的な学び合いを実現します。

グループ活動もスムーズに

グループでの新聞作成、PBLの研究結果のまとめ、グループ活動の記録などでも活用できます。

反転授業



先生・児童生徒の負担感少なく反転授業を実施できる

タブレット端末の普及により反転授業が行いやすくなった中、スクールタクトでは、映像教材の配布や既読未読の管理のほか、家庭での予習の取り組みをリアルタイムに把握し、コメントや添削による個別フォローが可能となります。

クラスの学びを円滑にキャッチアップ

予習を忘れた児童生徒がいても、授業時にほかの児童生徒のまとめを学ぶことで、円滑にキャッチアップできる環境を実現できます。

こんな使い方も!

指導と評価の一体化がしやすい

児童生徒の主体/対話/探究を促し、教員の見取りをサポート
文部科学省が推奨する3観点やポートフォリオ評価にも対応



効果的な活用へ!

先生の「できたらいいな!」をサポートする導入フォローアップ体制

基本操作から協働的な学びの実現まで4つのステップでサポート



できたらいいな、ができる

先生の声から生まれた機能が続々搭載



他にも授業運営をサポートする多くの機能があります

詳しくは公式サイトをご覧ください



授業準備

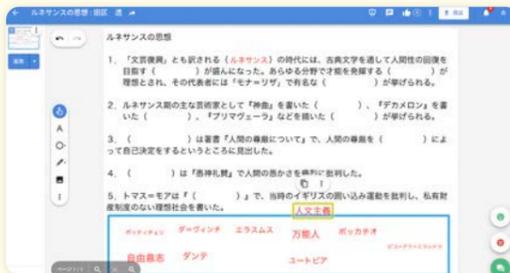
課題テンプレート



9000点以上のテンプレート

教材づくりを手早く、柔軟に行えます。お手製のプリントを簡単にテンプレート化して、先生同士で共有したり、9000点以上の豊富なテンプレートから選択して、課題を作成することができます。

ムーブパーツ



課題上の文字や画像などのオブジェクトを、児童生徒が動かせる設定にできます。図形を分類させたり、整序問題や穴埋め問題など、さまざまな課題を作成できます。

各種SSO連携

● Google Workspace for Education ● まなびポケット ● Classi

英語対応

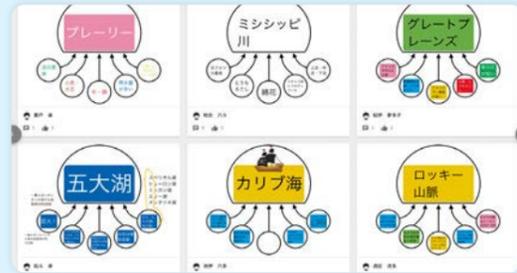
数式入力機能

一斉授業 個別学習

カンタン 切り替え

協働学習

リアルタイム回答一覧



児童生徒が書いている回答を、提出の有無に関係なくリアルタイムに把握し、アドバイスや添削を行うことができます。児童生徒は、先生から見られていることを意識しながら課題に取り組むようになります。

ワードクラウド機能

キーワードを可視化



児童生徒の回答の中で使われた単語をキーワード抽出し、頻出度に応じ可視化することができます。ワードクラウドを使うことで、回答の全体像を把握することができるため、より効率的な授業展開が可能になります。

振り返りAI分析機能

● 詳細解説をP10に掲載

投票機能

ロック機能

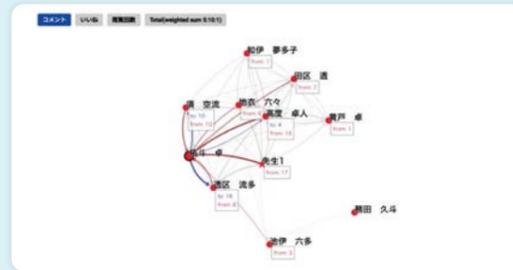
グループ課題機能

グループで意見交換



グループワークに参加している児童生徒全員が同じ課題を共有し書き合ふことができます。さまざまな意見を出し合いまとめたりすることができるので、協働的な学びを支援します。

発言マップ機能



児童生徒同士の回答閲覧や、いいね・コメントを用いたやりとりが可視化されます。協働学習では児童生徒同士のやりとりが先生にとってブラックボックスになりがちですが、誰が一番コメントされたかなど児童生徒の活動が直観的に分かります。

コメント・いいね機能

PDF/写真の取り込み・編集

プレゼンテーション機能

授業後

ポートフォリオ機能



児童生徒が取り組んだ活動を時系列で一覧表示します。科目毎の学習記録として保存されるので、振り返りや先生の見取りに役立ちます。指導と評価の一体化が行いやすくなります。

ループリック機能

学習の目的を明確化



児童生徒の学習到達状況を自己・先生評価するための基準となるループリックを作成できます。ポートフォリオ機能とも連携し、児童生徒の理解度や学習の到達度などを科目別に把握できます。

採点機能

教材共有機能

チャット機能



新学習指導要領に沿った能力を育て、 評価する機能が整っています。

情報収集する力、まとめる力、発表できる力、お互いにディスカッションする力、そういったものが一つにまとまった画期的なヒットツールだなというふうに思ったんですね。
私は常々、先生方もあるレイヤーまで到達したら「きらめいた発想方法をしてください」と言うんですが、このきらめいた発想方法の一つが、スクールタクトではないかと思っています。



新地町教育委員会
伊藤 寛 指導主任

新地町教育委員会
佐々木 孝司 教育長

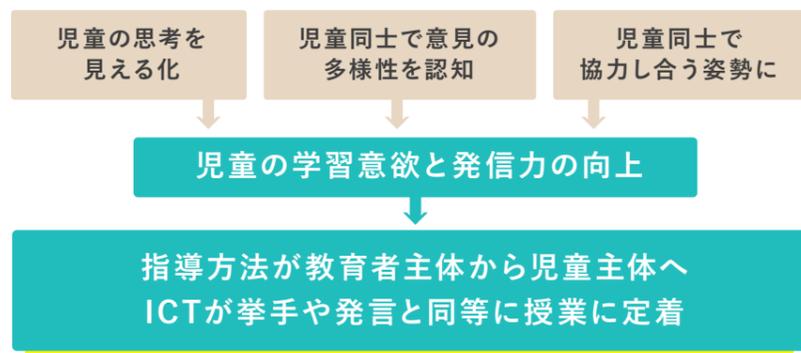
POINT 児童の学習意欲と発信力を高め、先生の伴走をサポートするツールです！

私たちに子供たちの21世紀を生き抜く力を育てたい、という想いがあります。これは次の学習指導要領にも含まれている内容ですが、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」、われわれがどうコーディネートして、学びとしてプロデュースできるかと考えた時に、このスクールタクトという授業支援システムにたどり着きました。協働学習支援ツールはさまざまありますが、私も今頭の中で数社の名前がすぐ浮かびますが、その中でもスクールタクトの大きな違いは、先生の授業をサポートするという点だと思います。自分の授業が子供たちにとってどんな効果があったのか、端的に言うと、この授業

で子供たちはわかったのかわからなかったのか、そういう視点で振り返るのがスクールタクトでした。共有するとか、話し合いの活動に利用するという機能以上のものが、スクールタクトには含まれていたもので、選んで間違いなかったと思います。



ICTが「使わなければならないもの」から、自己分析や自己発信の手段になりました。



STUDENT VOICE 01
いろいろな考えがあることに気づけ、多面から考えることができるようになりました。

STUDENT VOICE 02
協力もできるし、いっぱい仲良くなれるから良いです。

スクールタクト導入後の活用例

- 不登校対応** 授業の課題を共有し、家庭で課題に取り組みコメント機能で先生が指導を行う。
- 総合的な学習の時間** 写真や動画を撮影し、効果的な見せ方を意識したプレゼン資料を作成する。
- 反転学習** 宿題で課題の解決方法を宿題として記入し、授業で回答を共有しより良い解決方法を協議する。

こんな使い方をしています！

※本インタビューは2021年2月に行ったものです。



多数の授業支援ソフトを経て、 スクールタクトに辿り着きました。



小保内 陽大 教諭

本校はIB(国際バカロレア)MYP・DPを取り入れたカリキュラムの特性上、生徒同士のコミュニケーションや振り返り、実生活への応用などをルーブリックに基づいてテストと同様に評価できるICTを探していました。スクールタクトはさまざまな教科に対応していることやプレゼンテーションの機能があること、生徒同士が相互にコミュニケーション

を取りながら学習の振り返りを行えることが、本校の求める要件に合致していました。授業効率の向上とIBの単元計画に基づく授業設計、特に観点別評価において発表やグループワークが必須な点などを考慮した結果、スクールタクトの導入を決めました。

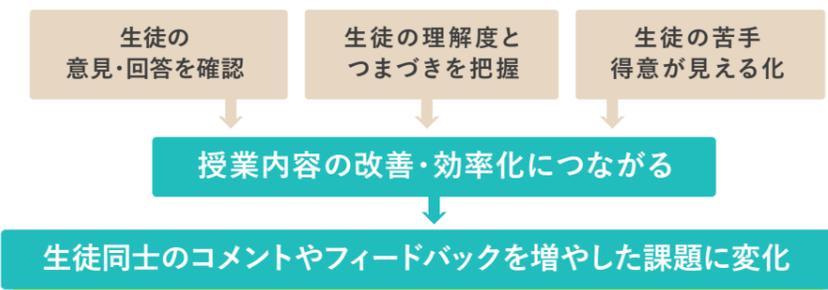
POINT 生徒の振り返りや授業に取り組む様子の評価が容易に。

本校では、従来さまざまなICTツールを使用していましたが、スクールタクト導入後には多くの変化がありました。教員の変化としてまず挙げられるのは、教員間での情報共有が盛んになったことです。IBの授業特性にも最適で、スクールタクトの使い方やノウハウ共有にとどまらず、その他のICTツールの利用においても情報共有が活性化しました。また、教員が各授業の特性に応じて柔軟にツールを切り替えられるようになると同時に、生徒も授業の特性に応じてツール

を使い分けるようになりました。生徒は、ICTに苦手意識を持つこともなく、楽しみながら使うようになってくれました。生徒同士の授業中のコミュニケーションや振り返り、実生活への応用などを評価することができるようになりました。



生徒の学習ログを丁寧に把握でき、授業が効率化しました！



STUDENT VOICE 01
電車の中でもスマホで簡単に復習することができます。

STUDENT VOICE 02
意見の大きな違いや共通点を見つけることが簡単になりました。

スクールタクト導入後の活用例

- 中1 学級活動** 文化祭の振り返りをみんなで共有する。
- 中2 社会(地理)** 近畿地方について調べ学習や意見交換を行い、リフレクションを行う。
- 中3 数 学** 関数とグラフを描く際に意見交換を通してポイントをまとめ、リフレクションを行う。
- 高1 物理基礎** 波と媒質の運動について意見交換を行い、条件や定義の考察を深める。
- 高3 英語表現II** グループで英文和訳を行った後、他グループの添削を行いさまざまな読解方法に触れる。

こんな使い方をしています！

※本インタビューは2021年2月に行ったものです。
※取材校の事例は、スクールタクトのOEMであるClass社のClassNOTEのもので



Google Classroom とスクールタクトを併用。 リアルタイムで生徒全員の活動が 把握できるのがスクールタクトの強み。

本校は「世界とつながる高校」をキャッチフレーズに、これからのグローバル社会で活躍できる真の国際人の育成を目指し、生徒の主体的な学習に重点を置いています。「双方向性のある授業」「資料の配信回収のデジタル化」やリアルタイムで学びの成果をシェアすることに期待して、スクールタクトを使いはじめました。アンケート形式での意見集約では Google フォーム、授業ではリアルタイムで生徒全員の様子を把握できるスクールタクトをメインに使っています。授業音声と Google スライド™ で作成したスライドを合わせたものを Google Classroom で共有し、それを聞きながらスクールタクトで課題に取り組むこともあります。



スクールタクトを使って生徒同士の解答を共有することで、「ほかの人が見ても理解できるように」意識して解答を書かせることができますし、自分にとってわかりやすい解説を見つけることもできます。回答共有や仲間と課題に取り組むことで、本当に困った時に人にどうやって聞くのか、困っている人にどうやって教えるのか、お互いに関わり合える繋がり方を学んでいって欲しいと思っています。

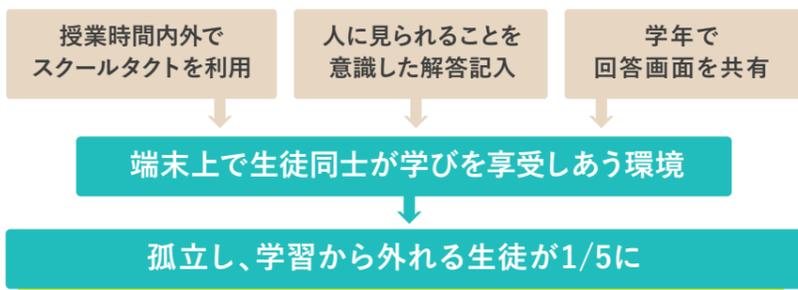
POINT 授業での生徒のアクティブさが理解度に影響しています。

スクールタクトを使った授業は一方的な教員からの一斉授業ではないので、生徒の取り組みの密度が変わり、学習効果は高まっていると思います。「見られている意識」が学習の取り組みにも影響していて、プリント学習だと白紙のままという生徒がいましたが、何も書かない生徒がまったくなくなりました。授業の最後に、ループリックで生徒が自身の振り返りを行った結果、授業で生徒がアクティブな時間が多いほど生徒の理解度が高まることになりました。板書をノートに写さないで済むよう教材を工夫したり生徒の解答を把握して授業設計したり、授業の仕方を変えています。

知識を得ることは動画を使った自宅学習でも可能ですが、学校での学習は生徒同士が集まり「繋がり方を学ぶこと」がメリットです。スクールタクトはまさに繋がりが増えるもの、繋がれるツールです。スクールタクトを使った授業をすることで、勉強のできる生徒が「自分はわかった」で終わらず、わかったことをほかの生徒に広めるようになりました。勉強のできる生徒自身も「誰かに教える」ことでさらに理解が深まっていると思います。



生徒の個性に合った方法で自発的に学びを掴める環境になりました。



STUDENT VOICE 01
教え合うことは楽しい！
思考力が上がりました。

STUDENT VOICE 02
人とコミュニケーションを
取る能力が上がったと
実感しました。

スクールタクト導入後の活用例

- 理科** 講義後、制限時間内にコメント機能や友達との会話をしながら「他者に伝わる解答」を作成する。
- 現代社会** 模擬裁判のシナリオを読み、有罪無罪の判決を各自でまとめ、解答を共有して考察を深める。
- 現代社会** 人権についての学習内容をもとにプレゼン資料を作成し、グループ内で発表をし合い相互評価やコメントを行う。

※本インタビューは2021年2月に行ったものです。

授業導入例

「振り返り」を次の学びに生かす



さらなる学びやすさへ「振り返りAI分析」

スクールタクトが、振り返りのためのフレームワークを考案。振り返りを通じた指導や学び合いが行いやすくなります。

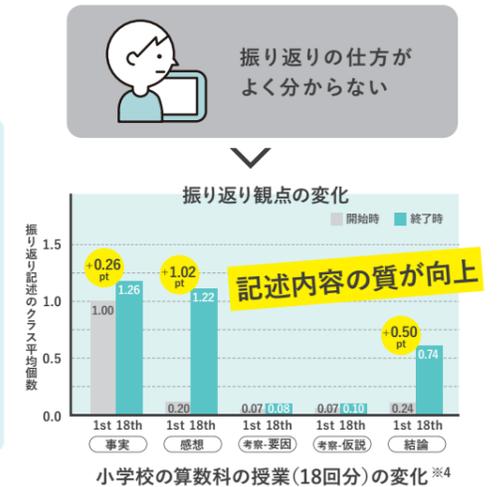
「事実」「感想」「考察/要因」「考察/仮説」「結論」の5つの観点で自動で分析をします。

活動は2つ

- 1 「振り返りAI分析」ボタンを押す
- 2 分析結果を確認する

振り返りAI分析で期待できる5つの効果

- ✓ 児童生徒が学習状況や自身の成長を捉えることができる
- ✓ 先生が、個人やクラスの学びの傾向を把握できる
- ✓ ほかの児童生徒の振り返りを見て学ぶことができる
- ✓ 振り返りを瞬時に自動で分析するので、今まで時間がかかった分析の時間を大幅に削減できる
- ✓ 5つの観点を意識することで、わかりやすい文章の作成につながる



授業導入例

教室を安心して楽しい学びの場へ！学級経営に役立つ



朝の会で学級作り「朝ノート」

「朝の会」の活動は、点呼に返事する以外は待機の時間になりがち。毎日確保された活動の時間を生かしたい！

「全員がアクティブに参加できる朝の会」がユーザーの先生の工夫から生まれました。

活動は2つ

- 1 体調やその日の出来事など興味関心について書く
- 2 相互にコメントや「いいね」を送り合う



朝ノートで期待できる5つの効果

- ✓ 体調や興味関心などの「自己開示」を促し、自己表現力が高まる
- ✓ 他者からのコメントにより、承認感や心理的な繋がりが生まれる
- ✓ 普段関わりの薄い児童生徒同士が、共通の興味関心を発見する
- ✓ 先生は児童生徒間の対立や衝突にもいち早く気づける
- ✓ タイピングスキルが向上する

